



# 須田っ子 第3号

学校教育目標「すすんで心や体をすこやかにする子」SA・SU・CA・DA



「一点集中」(2017.5.27 運動会応援合戦)

運動会に向けて、子供たちの体力も向上してきました。6月に入りスポーツテストを実施しています。詳細は次号でお知らせいたします。

本年度の運動体力面での重点は、次の3点です。

**重点体力**【**全校**】筋力(握力)

【**1上学年**】走り

【**1下学年**】持久力

筋力については、昨年度からお知らせしています。昨年年度に、全ての運動の核となるものです。清掃時の雑巾しぼり等、日常的に鍛える機会を工

## 3つの体力の向上

一学期の一大イベント、創立145周年運動会を実施いたしました。多数のご参観ありがとうございました。

運動会は、普段とは違って、グラウンド、つまり「屋根と壁のない教室」で、これまで学習してきた総合力を発揮する場です。体育の時間の拡大版ではありません。

「子供たちが、何をどのように身に付けたか。」中ページの運動会特集の作文をこー読んでください。

## 屋根と壁のない教室

校長 内山 晋

夫してまいります。走力や持久力については、体育授業に「走る」要素を十分位置付けてまいります。

また、ハードル走等の技能面の指導に、今後は外部講師を招聘する予定です。

**高めよう！**  
**フナナツプ！ 時間編集力**

健康面の体力向上の取組「元気アップ週間」が、6月12日から始まりました。家庭での時間を、学習に興味に有効に使う力を付けるための活動です。子供に将来に渡って生きて働く力(キャリア能力)です。また、メディア漬けは、脳や身体が完成していない子供にダメージを与えます。帰宅から就寝までの時間を、お子さんが設計・実施(編集)するための相談に乗って頂きたいと思っております。

**生涯学習！**

生涯学習です。教室で学んだことを、その場だけに終わらせずに、「屋根と壁のない教室」という、普段の家庭や地域での生活でも意識して活用してほしいものです。



# 須田小 イイね!

今年の運動会の結果は、競技・応援とも優勝は白組でした。昨年の結果と反対の結果でした。

両応援団長の振り返りの作文を読んで、感心しました。優勝したのに、白組団長は「最後まで諦めずに応援してよかった」、優勝を逃した準優勝の赤組団長は「くやしかった思いを中学校で果たしたい」と。とかく結果のみに注目しがちですが、一人一人の子供に熱中物語が成立していたことに感動しました。他の93名の子供にも。



**5/26(金) 音楽指導**

郷千枝先生による2回目の合唱指導です。前回の課題曲「おぼろ月」の後半の二部合唱を練習しました。



**6/2(金) SASUGADAカップ**

第3回大会を行いました。3年生以上の5チームが、一つのボールを巡って熱戦を繰り広げました。優勝は6年生チーム、準優勝は5年生チームでした。



**6/2(金) スポーツテスト**

子供たちの体力の実態をつかむとともに、昨年からの取組成果を確かめる、スポーツテストが始まりました。高学年は「見本係」「記録係」とリーダー役をしました。



**6/5(月) 5, 6年生 プール清掃**

延期していたプール清掃を行いました。1年間の「よごれ」落としを一生懸命しました。側面や床面をデッキブラシで磨き続ける子、水苔をザルで集め続ける子。プールの溜息が…。



**6/6(火), 7(水) 団体鑑賞**

6日・7日の両日に別れて、全校児童が、加茂市文化会館で観劇をしました。舞台の早変わりだけでなく、出演者の声量の大きさにも感激していました。

須田小ホームページ





6月8日(木)9日(金)の2日間、6年生12名は、会津若松に修学旅行に行っておりま  
した。一日目は、曇り・雨・晴れの天気順番に子供たちの頭の上に広がる中、時計と地図とに  
らめっとした班別活動は、子供にとって大変価値ある体験だったと思います。二日目はさわやか  
な快晴の下、会津の自然と文化に触れることができました。



鶴ヶ城にて



坐禅中(日新館)



絵付け体験(日新館)



# 会津へ

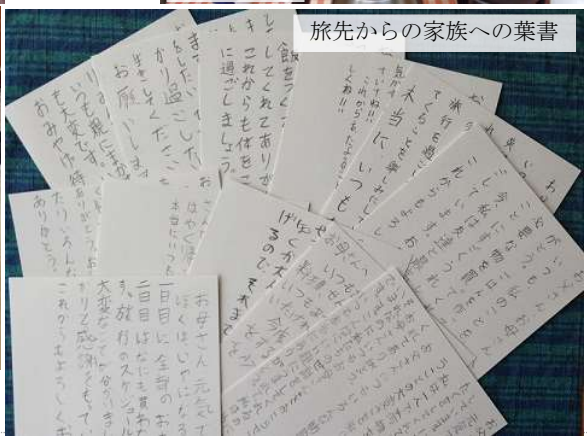
# 修学旅行



バスに乗って体験活動へ



ホテルにて



旅先からの家族への葉書

また再生したい思い出  
男子

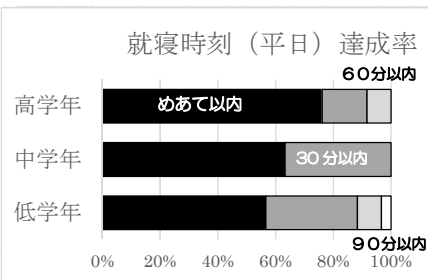
班別活動が始まって、さざえ堂に行きました。そこは、中がせまくて上り下りをする場所が少し複雑で、「設計はどうなっているんだろう。」と思いました。

次は、会津武家屋敷に行きました。ここでは、ガラス絵ぼりという伝統工芸体験をしました。ガラスコップの表面に、「再生」の形をほり出したかったという意味で作りました。

雨も降ってきましたが、鶴ヶ城に着いて、一番上の天守閣まで上って、飯盛山を見ました。「ぼくたち、あんなに遠いところからここまで来たんだ。」と思いました。

ホテルでは、過ごしやすいく部屋、おいしい夕食など楽しめました。夕食の後、地元の方から直接、震災のお話を聞くことができました。「界外だから関係がない。」と思っ  
はいけない。」と感じました。

二日間に、たくさんの方を知り、学校以外の人とふれ合いました。また、再生して活かしていきたいです



十分な睡眠は心の安定と健康な身体には必要！メディア依存は問題！読書を読むと考え方に広がりが出る！

このような「あたりまえ」は、なかなか実現しませんが。問題の捉え方に、何か盲点があるのでは？

# 睡眠と読書と

あたりまえ？

今年5月の生活アンケート結果を見る限り、就寝時刻は改善の兆候がいられます。しかし、睡眠時間は足りていても、時間の使い方はどうなのか？そこまで学校がするべきことか？むしろ家庭の問題では？堂々巡りになります。

しかし、家庭での時間と学校での時間は密接です。ではどうするか。

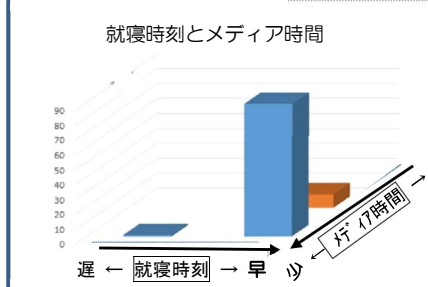
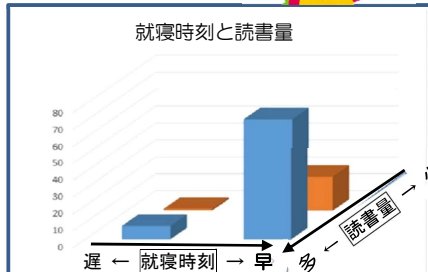
**逆発想**  
須田小学校では、昨年度から生活習慣の問題点を改善するには、子供自身が自らの生活を創り上げる力を育むことが重要と捉え、指導をして参りました。具体的には、睡眠時間を十分取り、メディアと上手に付き合っている子供の要因を探りました。結果は、「時間」の使い方でした。



帰宅してから就寝までの時間で、何をどの順番でするか。隙間の時間をどう活用するか等、工夫次第で、皆さんの時間が生み出されることについて、保健指導をしてきました。

帰宅後の午後4時~就寝までの時間5、6時間の時間の使い方(時間編集力)を育てたい。

低学年：午後9時 就寝  
中学年：午後9時半就寝  
高学年：午後10時就寝



**一年前は…怪獣メデイア**  
昨年の調査では、全校児童の約4割が、自宅での殆どの時間をメディアに使っていました。「メディアが家庭生活を食べている」という、怪獣メデイア全盛期でした。

そこで、昨年度からは、養護教諭による家庭での時間の使い方指導の時間を活用し、自分自身の読書習慣を整える一つの手段としての読書についてさらに指導をしていきたいと思えます。さらには、自分の興味を沸くものに没頭するためのゆとりを生み出す「時間編集力」を育成する指導もして参ります。

これが、今年の5月には10冊に倍増しました。また、メディア時間をコントロールできる子供たちも増えてきました。

**読書は、生活習慣ツール**  
生活習慣を整える一つの手段としての読書についてさらに指導をしていきたいと思えます。さらには、自分の興味を沸くものに没頭するためのゆとりを生み出す「時間編集力」を育成する指導もして参ります。

◆子供の読書量については、全校学校図書館協議会が毎年5月、1ヶ月の読書冊数を調べています。活字離れが言われて久しいですが、小学生の読書量は30年前、つまり、保護者が子供の頃に比べて約2倍(6.0冊→11.4冊)も、今の子供たちは本を読んでいることになります。ただし、数字はあくまで平均値です。読書にも2極化(多読と無読)が見られることも否定できません。今後も、個別の指導も大切にしていきたいです。

H29.5 生活習慣調べ(須田小学校)